

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：森づくり課  
 担当名：木材利用推進・林業支援担当  
 内線：4318 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P89	新たな県産木材流通体制整備事業			一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	令和6年度～令和10年度	根拠法令	森林・林業基本法、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律	建設	針路	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	11, 12, 15
					分野施策	1203	林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	SDGsターゲット	11-a, 12-8, 15-1,
1 事業概要	川上から川下まで連携した新たな供給体制を整備することによって、工務店等が求める木材を入手しやすくし、県産木材需要の拡大を図る取組を支援する。			5 事業説明 (1) 事業内容 工務店等が求める量、規格・品質の県産木材を容易に入手できる新たな体制整備するために、新たな流通体制を検討する県産木材供給体制構築対策協議会の運営を行う。 7,763千円  (2) 事業計画 県産木材供給体制構築対策協議会の実施  (3) 事業効果 川上から川下までの需給情報を一元的にまとめることにより、需要に応じた生産や工務店等が求める量、規格・品質の県産木材を容易に入手できる環境を整えることにより県産木材の供給量の増に寄与する。 県産木材の供給量 令和3年度：85,000m <sup>3</sup> → 令和8年度：120,000m <sup>3</sup> 【活動指標（アウトプット）】需給情報システム設立への合意 【成果指標（アウトカム）】県産木材の販路を拡大（新たな供給体制を利用した県産木材製品（3,500m <sup>3</sup> （R8））により、工務店等が求める量、規格・品質の県産木材を容易に入手できる。県産木材が使用されることにより、森林の若返りが進み公益的機能が維持発揮される。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 川上から川下までの木材関連事業者や工務店等を構成員とした協議会を開催することで、当事者の意見を集約し活用しやすいシステム構築を目指す。					
ア	県産木材供給体制構築対策協議会運營業務委託 7,317千円								
イ	県事務費 446千円								
2 事業主体及び負担区分	ア、イ（県10/10）								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	人件費（既存分）9,500千円×8.0人＝76,000千円 人件費（増員分）なし 組織の新設・改廃 なし								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	7,763							7,763	7,763
前年額	0							0	

## 事業内訳書

事業名	新たな県産木材流通体制整備事業		
単位事業名	新たな県産木材流通体制整備事業	予算額	7,763千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,763	7,763	
合計	7,763	7,763	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	250	250	先進地視察（熊本県） 50,000円×2人×2日 2000円×2人日×10回 200円×2人日×25回
需用費	81	81	コピー用紙 1,500円×10箱 事務用品費 ガソリン代 175円×50回×4機関 コピー代（白黒） 1円×10枚×300件 コピー代（カラー） 10円×2枚×300件
役務費	92	92	切手代 140円×300件 デザイン作成手数料
委託料	7,317	7,317	県産木材供給体制構築対策協議会運営委託業務

単位事業名	新たな県産木材流通体制整備事業	予算額	7,763千円
-------	-----------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	23	23	会場借上料 23,000円×1回
合計	7,763	7,763	